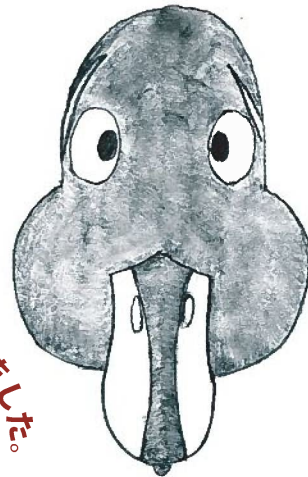


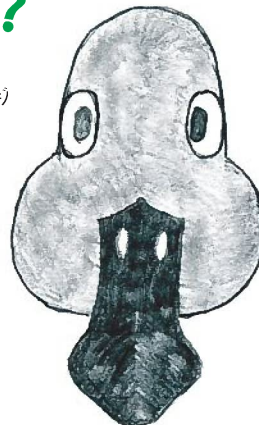
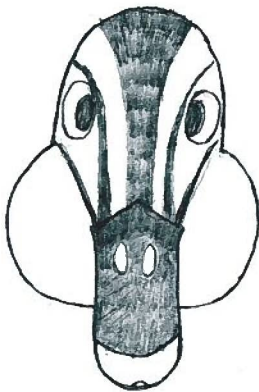
森のおくりもの12月



カモが見やすい季節になりました。

わたしは
だあれ？

こたえは最後のページ



イラスト：太田吉厚さん（宮城野区）

いよいよ今年も大詰めの12月です。冬でも森を楽しんでいただくため、いろいろと展示を工夫しております。その中でも、12月からは、自然観察センターの部屋の中からたくさんの野鳥をご覧いただき楽しんでいただけますようバードテーブルを設置しております。この冬もまた太白山自然観察の森をよろしくお願いいたします。
（館長 菊池正行）

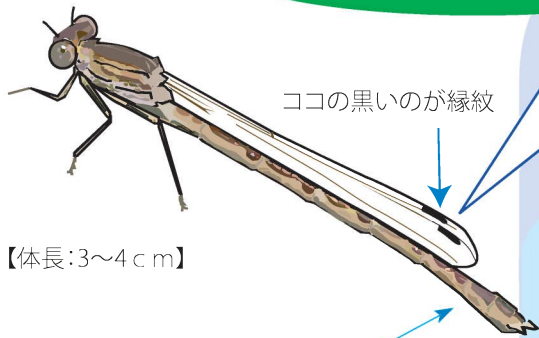
華奢な体で寒さに耐える 「オツネトンボ」



赤や黄色の葉が落ちて、冬の装いをはじめた観察の森。落ち葉を踏みながら歩いていると、細い棒が飛んでいるように見えたことはありませんか？よく見るとイトトンボではないですか？止まったところを見逃さないようにそっと近づいて翅の縁紋（えんもん）を確かめましょう。んん？ずれている？重なっている？

かくれんぼが得意

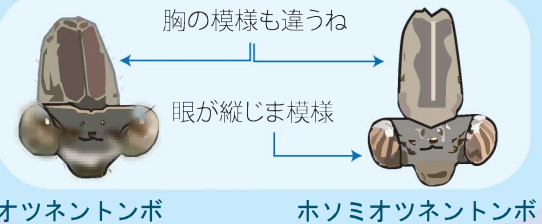
見分け方



【体長：3～4cm】

止まるとき、尾部を揺らしながら止まる。

オツネトンボは
はねの先端付近にある縁紋がこのように
前翅・後翅で重ならず、前後に並ぶ。
(重なるとホソミオツネトンボ)



オツネトンボ

ホソミオツネトンボ

(*ホソミイトトンボは眼が横じま模様)

トンボの多くはヤゴ（幼虫）で越冬しますが、ホソミイトトンボ、ホソミオツネトンボ、オツネトンボの3種は夏以降に羽化し、未熟成虫のまま風のあたらない場所で冬を越します。観察の森ではオツネトンボをよく目にします。丸太の上などに静止していると、ちょっとでも目を放したら、見つからなくなるくらい同化しています。この地味な褐色の体は、冬～早春の枯れ草色に似せて保護色にしているんだ！と思わずにはいられません。春になり、成熟すると眼の上方が少し青っぽくなります。♂は植物の葉（枯れ草が多い気がする）にべたっと止まり、縄張りをはります。そして、交尾・産卵をして一生が終わります。こんな小枝のような華奢な体で、10か月近くも生きるなんて、すごい生命力ですね。

毎年、雪が降ってもじっと動かずに越冬している姿を見つけると、なんだかとても勇気づけられますよ。皆さんも、越冬中のオツネトンボを探してみませんか？

【レンジャー：黒川 周子】

*成虫で越冬することから、越冬（おつねん）の名がつけました。

12月の野鳥情報

先月の1日、であいの道を歩いていると『フィッフィッ』と口笛を吹くような鳴き声が聞こえてきました。よくみるとウソの群れでした。このあたりでは冬鳥としてみることができ、スズメより少し大きく、頭が黒で雄は喉の周りが赤いのが特徴です。今回は雌だけしか確認できませんでした。が5～6匹の群れでしばらくの間、観察することができました。

アトリ科 / ウソ

全長16cm

オスは赤い喉が特徴



植物の種子や木の芽が好物で、「ウソによって公園の桜の花芽が食べられてしまった。」などという話をよく聞きます。しかし、ここ自然観察の森では出合えると本当にラーキーでとても可愛い小鳥なのであります。

(これは嘘じゃなく本当の話！)

そんなウソに出会えたらその日は幸せになれるという話があります。

(これは嘘です！)

その他の冬鳥としてはジョウビタキ、アトリ、アオジ、ベニマシコ、ルリビタキなどぞくぞくと冬鳥の情報が入って来ています。

なお、12月から観察センターの裏庭では恒例のバードテーブルを設置致します。研修室からゆっくりと観察できますので是非お越し下さい。

お待ちしております。

【レンジャー：齋 正宏】

野鳥

	11月		12月		1月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
ジョウビタキ						
アオジ						
アトリ						
ルリビタキ						
ベニマシコ						
ウソ						
キクイタダキ						

レンジャー花 木もれび BLOG



略してコモブロ 第7回『巣箱とエコアップ』

11月17日、イベント「ぴっぴ先生の小鳥の巣箱づくり」を行いました。参加された方は使い慣れないノコギリやトンカチをあやつりながらも巣箱を完成。



ぴっぴ先生”こと太田さんから①「巣箱は上手に作らないで下さい」②「巣箱をかける方角に決まりはありません」などの常識をくつがえす？説明があり、驚きながらも楽しんでいました（①隙間なくキッチリ作ると中が蒸れるから。②巣箱の前に入出ししやすい空間があれば方角は関係ない）。



できあがった巣箱は、みなさん自宅の庭に掛けられるそうですが、自然観察の森でも、これから園内に小鳥用の巣箱を設置していきます。

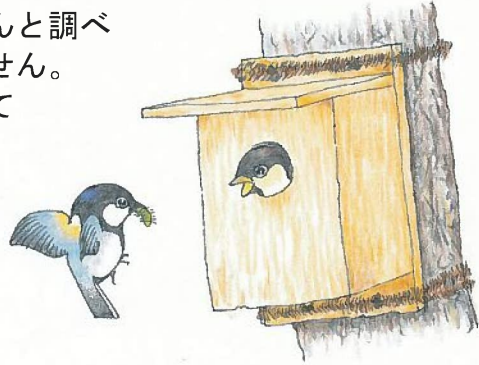
そもそも、巣箱を利用する鳥は樹木に空いた穴（樹洞）を利用する種類で、自然観察の森ではシジュウカラとヤマガラがあてはまります。

しかし、自然に樹木に穴があくようなことはめったにないので、小鳥たちは住宅難です。巣箱の設置は人工的な樹洞を増やし、小鳥やヒメネズミなどが巣やねぐらに利用できる環境を増やすことにつながります。

これは「エコアップ」と呼ばれる技術です。耳慣れない言葉だと思いますが、「エコロジカル・アップ」の略で、自然の豊かさを高める技術や行動を指し、どんな生き物のために行うのかきちんと調べ目標を立てて実行していかなくてはなりません。

自然観察の森では、他から生き物を持ってきて増やすのではなく、環境の質を高めていって、元から住んでいた生き物が自然に増えていく森をつくろうとしています。

とりあえず巣箱の設置というエコアップから始め、今後は少しずつ他の方法も試していこうと考えています。



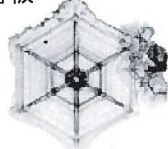
自然観察 基礎のきそ

あえて、図鑑の一番最初に載っていることを取り上げ初めに帰るこのコーナー。今月は「雪の結晶」です。他にもいろいろな形が降ってきますよ。

星状



角板



扇状



羊歯状



樹枝状



【レンジャー：高橋 千尋】

大詰めの12月！冬の自然観察の森をお楽しみ下さい！

今年の夏から秋にかけては、多くの種類のキノコが発生し、森を華やかに彩っていました。しかし、そのキノコもほぼ終息し、自然観察の森はいよいよ本格的な冬の装いとなってきました。

とは言え、冬でもまだまだ楽しめるのが、ここ自然観察の森です。冬には冬ならではの楽しみ方がたくさんあり、多くの方々においでいただいております。

そのひとつとして、自然観察センター内では、通常の展示のほか、バードテーブルやヒメネズミとアカネズミの生体展示を行います。

バードテーブルでは、センターのすぐ外に餌台を設置しますので、室内から冬鳥を中心とした多くの野鳥の餌をついばむ様子が間近でご覧いただけます。

また、ヒメネズミとアカネズミの生体展示は、県の許可を得て園内で捕獲した2種類のネズミをご覧いただけるようにします。とかく、ネズミは嫌われがちですが、ヒメネズミとアカネズミは体が小さく、特に木の実などを食べるしぐさがかわいらしいこともあり人気があります。ネズミ嫌いの方もぜひ一見のほどよろしく願いたします。

このようにして、自然観察センターは、真冬でも開館しておりますので、いろいろとお楽しみいただけるかと思えます。

さらに、毎週日曜に行っているガイドウォークは、午前中のみの実施（12月から3月までの間）とはなりますが、雪が降り積もっていても実施いたします。というよりは、雪が降り積もっていたほうが、いろいろな野生動物の足跡が観察でき好都合となり、参加者の多くの方々からはたいへん好評を得ております。

さらに、園内は、広葉樹の葉が落ち、野鳥の観察に最適な状況となります。また、木々の冬芽の観察にも適した時期ともなります。それに加え、これまで散策路からはあまり見ることかできなかった太白山が木々の間からよく見えるようになり、時として新鮮さを感じさせることさえあります。

この冬も、多くの皆様に自然の中でやすらぎ、楽しんでいただければと願っております。

今年もたくさんの方々においでいただきまして、たいへんありがとうございました。また、新年も、今年以上のご利用をいただけますようよろしく願い申し上げます。

【館長：菊池 正行】

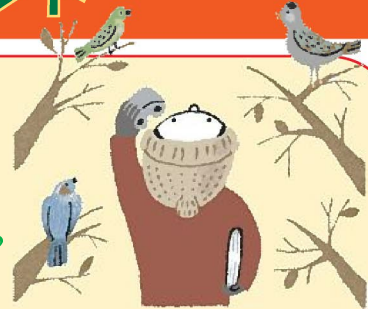


12月のイベント

15日(土) 7:00~8:30

『おはよう野鳥かんさつ』

静かな森へ元気な野鳥たちに
会いにいきましょう♪



- 集合** 自然観察センター
- 持ち物** 暖かく動きやすい服装とクツ、持っている方は双眼鏡など
※自然観察センターでも双眼鏡を無料貸し出ししています。
- 対象** 野鳥に興味のある方や冬の森をゆっくり歩いてみたい方
- 申込み** 不要。時間まで自然観察センターにお集まり下さい。

トピック

12月から野鳥への給餌を始めます。研修室の窓から“ぬくぬく”バードウォッチングしませんか。

Coming Soon!! イベント予告

平成25年1月14日(祝)、26日(土)
「歩こう雪の森・さがそうアニマルサイン」開催予定!
各回定員先着10名。1月8日から受付開始です。
くわしくは次号か市政だより1月号をご覧ください。

毎週日曜は

『ガイドウォーク』の日!

12月のテーマは『落ち葉を踏みしめて』です

実施日: 2日、9日、16日、23日

10:00~11:30

(12月からは午前中のみとなります)

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

12月の休館日

3日、10日、
17日、25日

28日から1月4日は年末年始休館となります。



表紙の絵や原稿を募集しています。

里山や自然に関するものを描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼントがあるよ!!

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が
カラーでご覧になれます。

「太白山 森のおくりもの」で検索。

「社のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2012年12月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

*表紙の答え→(左上より) キンクロハジロ、オナガガモ、(左下より) カルガモ、ハシビロガモ